

日本共産党の市政アンケート中間集計について

2012年12月4日（改訂）

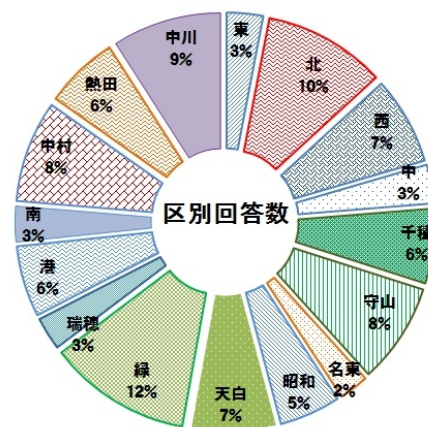
日本共産党名古屋市議員団

日本共産党名古屋市議団は、本年10月より市政アンケートにとりくみ、11月30日現在で5,355通の回答が寄せられました。これは、2010年、2008年に、同様に取り組んだアンケートの集約数を超えるものです。ご協力いただいた、市民の皆さんに、心から感謝いたします。

アンケートの方法は、別紙アンケート用紙を返信用封筒とセットして、市内全区に無作為に世帯配布し、返送されてきたものを集計します。

自由に声を書き込める欄には、今の政治と市政への怒りがたくさん書き込まれており、そのご意見やご要望は、今後の名古屋市政改革の提案に生かしていく決意です。

まだ、連日、アンケートは返信されてきていますが、4,452通段階までの中間集計を公表します。

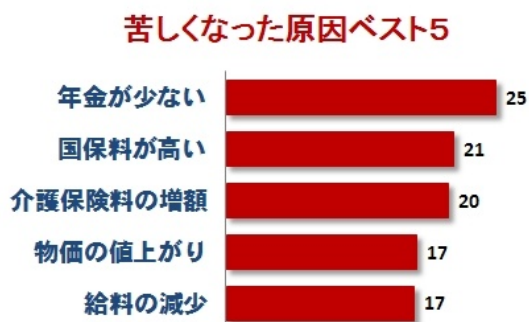
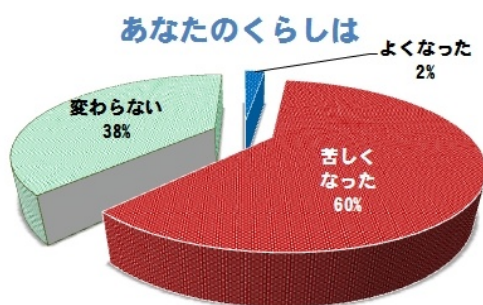


1、くらしについて

くらしぶりをたずねたところ、60%が以前と比べて「苦しくなった」と回答。その原因は、①年金が少ない、②国保料が高い、③介護保険料の増額など、国の悪政のもと、市政がくらしを守る“防波堤”となることが切実に求められているのに、逆に負担増が押し付けられ、市民のくらしを苦しめていることを示しています。

これだけ今でも苦しいところに、消費税の増税や、国保料などのさらなる負担増を行えば、くらしを破壊してしまうことは明らかです。

市政との関係では、減税の恩恵は一部の大企業と富裕層に集中し、一般庶民は介護保険料の増、後期高齢者医療費の増、国保料の増がおしつけられ、いっそう消費が冷え込み景気が悪化する悪循環となってしまうと言えるでしょう。

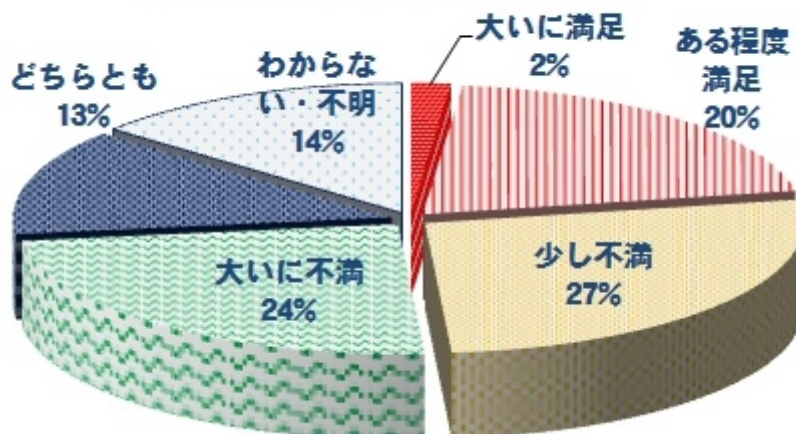


2、 名古屋市政について

(ア) 名古屋市政の満足度

名古屋市政については、「大いに満足」と「ある程度満足」が22%、「少し不満」と「大いに不満」が51%と、不満派が満足派の倍以上となっています。

名古屋市政をどう思うか

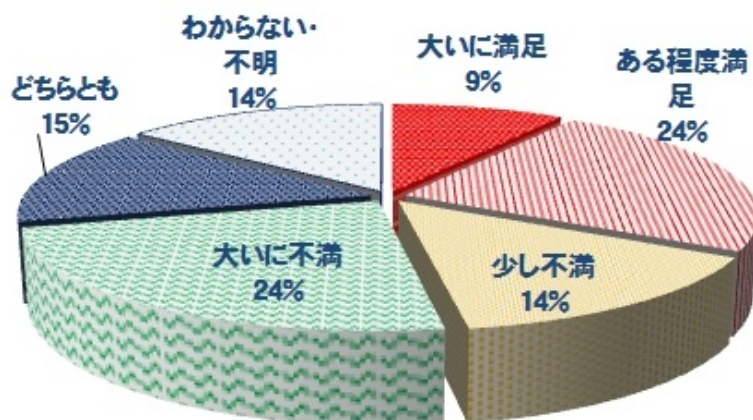


(イ) 河村市長の市民税減税

市民税減税については、「大いに満足」と「ある程度満足」が33%、「少し不満」と「大いに不満」が38%、その他29%と、市民の評価はわかれています。

自由記入欄には、「年金生活者には何の恩恵もない」などと、市民税減税が低所得の市民にとっては、なんの恩恵も歓迎もされていないことを告発する声が多数寄せられました。

河村減税



(ウ) 名古屋市政にのぞむこと

名古屋市政にのぞむこととしては、①「介護保険料や利用料の軽減」36.6%、②「国民健康保険料の引き下げ」34.7%、③「高齢者福祉の充実」30.6%、④「医療体制の充実」28.9%が多く、こうした声にこたえて、くらし、医療、介護、福祉を充実する必要があると思います。

逆に、28位「駅前大規模開発」2.2%、27位「名古屋城天守閣木造再建」2.8%などは、市民の関心が低いことであり、急いで行う必要のないテーマともいえると思います。

名古屋市に望むこと(複数回答)



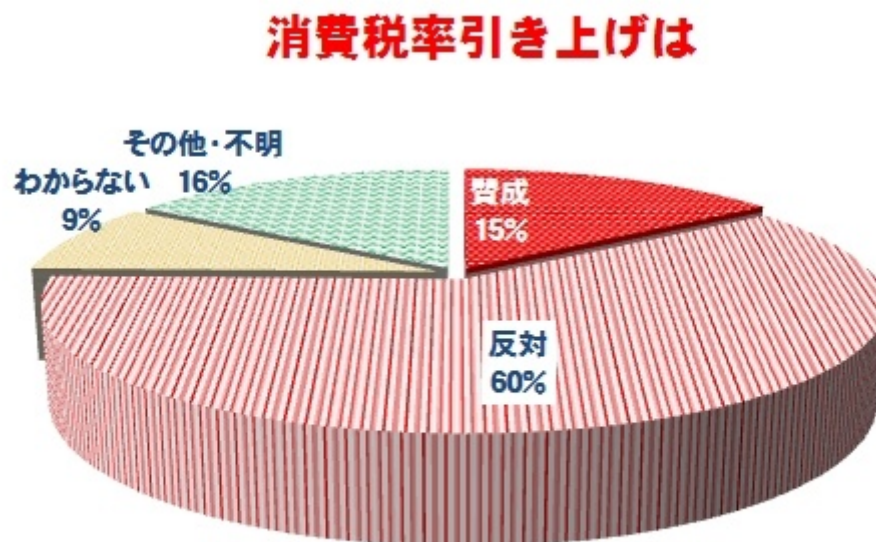
名古屋市にのぞむこと (複数回答)

順位	項目	%
1	介護保険料や利用料の軽減	36.6
2	国民健康保険料の引き下げ	34.7
3	高齢者福祉の充実	30.6
4	医療体制の充実	28.9
5	後期高齢者医療制度の廃止	23.2
6	雇用対策	22.7
7	自然環境保護	14.5
8	生活道路や歩道の整備補修	14.3
9	行政改革の推進	14.2
10	バス路線の改善	14.2
11	防災震災対策の充実	14.1
12	障がい者(児)福祉の充実	11.6
13	大気や騒音・水質など環境保全	11.5
14	中小企業への支援	11.5
15	保育料の軽減	10.7
16	通学路の安全対策	10.0
17	地球温暖化対策の強化	9.0
18	30人学級など教育充実	8.4
19	市営住宅の増設	7.3
20	小中学校へのエアコン設置	6.3
21	おもしろいまちづくり	6.2
22	ごみ分別リサイクル	5.7
23	バリアフリーの促進	5.2
24	農業振興	5.0
25	住宅リフォーム制度の充実	3.4
26	名古屋城天守閣木造再建	2.8
27	駅前大規模開発	2.2
28	市民団体との共同	1.6
	その他	5.1

3、 国政の熱い焦点について

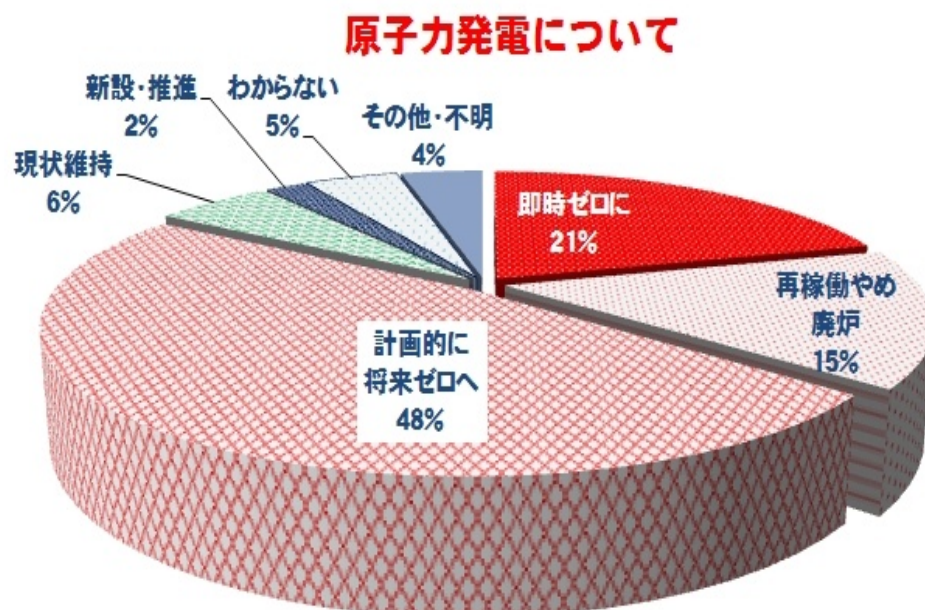
(ア) 消費税増税

消費税増税については、「賛成」15%、「反対」60%と、容認しない声が圧倒的でした。



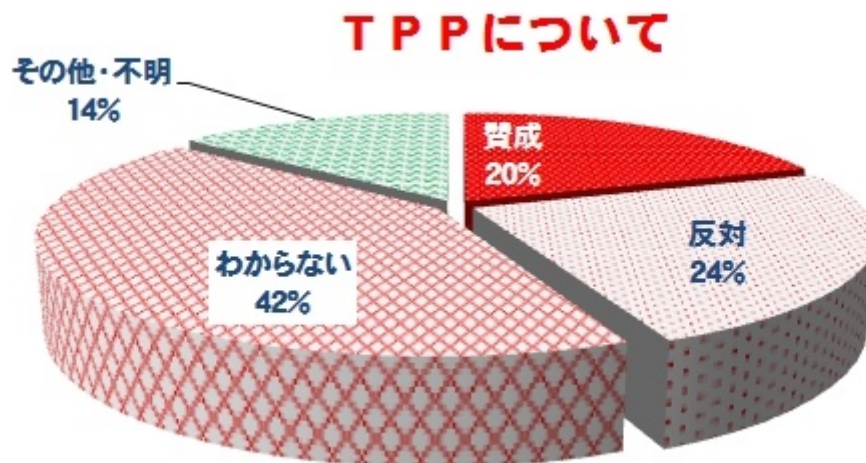
(イ) 原発なくせが圧倒的

原発については、「即時ゼロ」21%、「再稼働をやめて廃炉」15%、「将来ゼロ」48%と、圧倒的な世論が廃止を求める声（84%）であることがわかります。



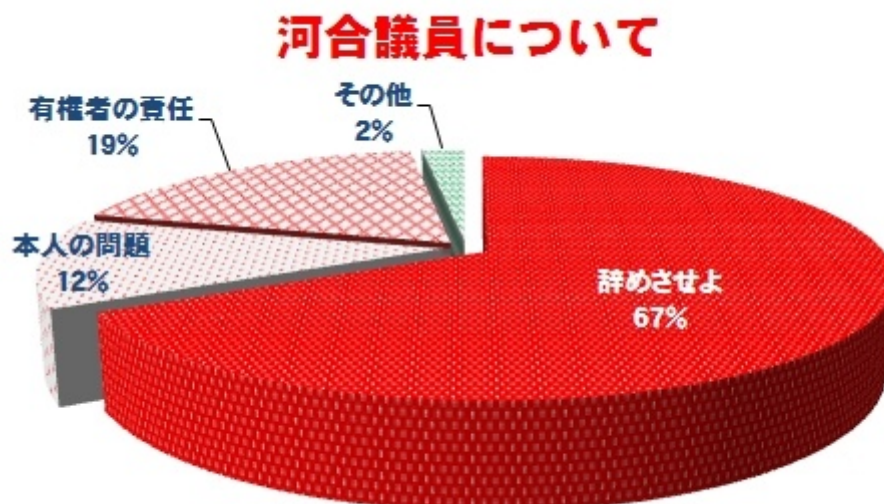
(ウ) T P P参加容認は少数派

T P Pへの参加については、「わからない」が42%で最も多く、「賛成」20%、「反対」24%で、交渉参加容認が少数派であることがわかります。



4、 議員の資質について

辞職勧告を受けた河合議員については、「辞めさせよ」が67%と、圧倒的ですが、「有権者の責任」という声も19%ありました。



5、 たくさんの期待の声にこたえてがんばります

アンケートには、「日本共産党への意見要望欄」と「自由記入欄」を設けましたが、枠内にはおさまらず、用紙の裏にまでびっしりと記入されたものも多数ありました。特に、国政でも市政でも、くらしや医療、福祉を切り捨て、市民に対しては負担増を求める今の政治への怒り、不満、不安が寄せられました。

アンケートそのものについても、「こうやって市民の声を聞いてくれてありがとう」「結果をまた教えてください」など、双方向で市民の皆さんと結びついていくことの大切さが痛感できる声もたくさんいただきました。

日本共産党名古屋市議団は、改めて回答を寄せていただいた皆様のご協力に感謝するとともに、引き続き、アンケート内容を分析し、来年度予算編成をはじめ、市政改革に生かしていきます。

【アンケートに寄せられた声（一部）】

- ・ 自民も民主もだめなので、共産党にお願いするしかない。共産党さん、年金や老後を安心してらせる日本を。放射能0を。家賃払ったら生活苦です。（北区50代女性）
- ・ 貴党が真に国民に愛されるためにどうあるべきか考え、PRしてほしい。最近の領土問題の中国大使館への申し入れは評価。貴党が中国からもロシアからも独立していて、国民への愛と高い理想、深い知性のもとに行動している党であることを、もっとやさしく明るくPRしてほしい。必ずしも低所得者のための党ではなく、広く日本国民のための党であることを立証してほしい。（北区60代男性）
- ・ 自分は無職なのに、世帯主の所得のせいで、国民年金を払う義務があるといって、毎月15000円払えと言われても払えません。おかしいと思います。どうかしてください。（北区20代女性）
- ・ みよりのない高齢者の生活を考えてほしい。一人生活は寂しく不安です。（北区70代女性）
- ・ 良い活動をしておられると思いますが、影響力が乏しいと思います。（北区40代女性）
- ・ 敬老パスの存続を切に願います。（北区60代女性）
- ・ 日本共産党の議員はまじめで一生懸命取り組んでいるが、みんな同じような言い方ではなく、もっと個性を出して。（北区60代女性）
- ・ あまり政治への関心がなかったのですが、原発事故後、国への不信感がつのるばかりです。そんな中、日本共産党の反原発等への活動はすばらしいと思っています。

これからも期待しています。(北区30代女性)

- ・ 日頃、いろいろ不満心配がつのりますが、モノを申す手段がないので、このようなアンケートを年1回でもやっていただけたら、少しはむくわれます。(北区40代女性)
- ・ 公務員の給料を下げ続けるのをやめさせて。手取りが21万で母子家庭。子どもはどんどん大きくなり学費が大変です。まだ下げられるのでしょうか。(北区40代女性)
- ・ 教育費は高すぎるのでなんとかしてほしい。子どもたちが満足のいく教育が受けられるよう高校までは義務教育にしていくべき。将来的には大学も学費ゼロへ。(北区40代女性)
- ・ 共産党は、いつの場合も筋論を言う政党でいてほしい。「この問題について共産党は何と言っているのだろう。ああこれが本筋か」と、利害に左右されない、ものごとを考える上での、ものさしとなる意見を言う政党でいてほしい。(西区50代男性)
- ・ 今回のアンケートで市政にのぞむことで記入した項目を、早々に実現させてほしい。(西区60代女性)
- ・ 変な維新、みんな等々さっぱりわからない。いたずらに福祉をカットし民間にまかせて競わせればよしとする、自民党を含めたこうした保守的動きに不安を感じる。こうした勢力になびいていくのがこわい。大政翼賛会のようにになったらおそろしい。もっと新自由主義反対を明確なスローガンにし、連携できる勢力とは力をあわせたたかってくれないと困ります。そうしてくれるなら支持します。(西区40代女性)
- ・ 母が持病から失明し、その介護から父も不整脈で倒れ、施設へと思いましたが、目の不自由な人の施設は配偶者がいるとか年金収入とかでだめだと言われ、希望するホームは何百人まち。他のホームはとても年金収入でははいれない。なんてひどい世の中と実感。お金のないものは死ねということ。(西区40代女性)
- ・ 給料が下がって景気がよくなるわけない。雇用や給与引き下げとたたかってほしい。(西区40代男性)
- ・ 旧区役所が廃墟のようにになっている。草ぼうぼうも怖いので、保育所にできないでしょうか。(西区40代女性)
- ・ 憲法9条は守ってほしい。右傾化の中にあって唯一平和主義の政党だと思っている。(西区50代女性)
- ・ 今までニュースを見てばやいていただけなので、このようなアンケートは大賛成。(中区40代女性)
- ・ 本当に市民の声が活かされる名古屋にしてください。(中区40代男性)

- ・ 期待している。介護保険料が異常に高い。それと年金から差し引かれるが、どうして口座振替など支払う側に選択できないのか。(中区60代男性)
- ・ 名古屋市の公務員は全国比較でも給料水準が低い。市長に意見を述べて追及してほしい。(中区40代男性)
- ・ 日本に明るい未来が望めません。若者が夢や希望をもてる世の中になってほしいです。(中区20代女性)
- ・ 日本共産党が飛躍的にのびないと日本はよくならない。市民に対する広報活動を活発に、市民との接点をもってほしい。(千種区70代男性)
- ・ 一番庶民の声に耳を傾けてくれている政党だと思う。雇用に力を入れて、派遣の全面廃止を。苦勞して、半ば強制労働状態の派遣社員より。(千種区40代女性)
- ・ 9条を守ってください。何より人や生き物の命を大切にすることを優先してください。図書館があまりにもひどい。利用しやすくしてほしいです。名古屋市議会が未熟な政党によって混乱しているようにみえます。(千種区40代女性)
- ・ 保育園や病児保育の充実を望んでいます。待機児童0へ。年金の将来が不安。(千種区20代女性)
- ・ 日本共産党がどんなことをしているのか、どんな人がいるのか、関心ある人しかわからない。半年に1度、1年に1度、フリーペーパーをショッピングモールに置いてはいかが。今回、このような意見を出せる場を設けていただき感謝します。(千種区30代女性)
- ・ 理想ばかりではだめだと思う。(千種区30代男性)
- ・ 本気でがんばってほしい。本気で政権とる気があるのか。見えてこない。本気を出して現状の日本を変えてほしいと切に願う。(千種区50代女性)
- ・ 30年働いても年金は生活保護と同じくらい。そこから国保や医療費支出したら生活できません。どうしたらいいんでしょう。(千種区50代女性)
- ・ 庶民の目線で、庶民の意識知識向上のうえで、意見考えを行政に反映して頂けるとと思います。各種議会への議員をまず増やしてくださいませ。(名東区50代女性)
- ・ 原発反対にがんばってくれていて感謝しています。学校に太陽光や、トルネード風力発電があれば、災害時に役立っていいと思います。(守山区40代女性)
- ・ 教職員が多忙、いじめや不登校など教育に関する課題をとりあげてほしい。子どもは国の宝、国の未来を左右する。(守山区50代女性)
- ・ 若い人の雇用対策をしっかりとお願いしたいです。せっかく一生懸命に学んできた子どもたちが就職難になっていると困ります。(守山区40代女性)
- ・ 政治に期待できない。教育にお金かかりすぎ。将来安心してくらしていけるように

一日でも早くなってほしい。老後が心配です。(守山区30代女性)

- ・活動が見えない。現場に入って有権者の声をもっときくことが必要だと思います。(守山区60代男性)
- ・自民、民主がダメだとわかった。大阪も東京もトップは危うい。右にも左にも傾かずにがんばってください。1次産業に従事する人がもっと増えて、持つことより生きることにより重きを置く人が多くなるといいなあと、3・11以降ずっと考えています。(昭和区40代女性)
- ・子どもが4人でとにかく大変。子どもの数に応じて将来の年金を増やすとかできませんか。4人子どもいると貯金もできません。働くだけで精一杯。(天白区40代女性)
- ・共産党に対して冷たい人たちが多くいます。そうした人たちに対しても、辛抱強く接して欲しいと思います。(天白区60代女性)
- ・日本がよくなれるようにがんばってください。(天白区50代女性)
- ・このような取り組みはとても良いと思う。(天白区30代女性)
- ・介護保険が年収の1割近くの支払いになります。その他各種税金を支払うと、生活費が大変少なくなってしまう、老人夫婦は現役時代にも多く税金を支払ってきたのに、どうしてこんなに苦しめるのか。国の税金のムダ遣いに立腹。(天白区70代男性)
- ・期待しています。希望がもてる未来にしてほしい。(天白区50代女性)
- ・批判だけでなく、現実にとった実現可能なビジョンを出してほしい。(天白区60代女性)
- ・保育園が少ない。子育てママにも働きやすい環境がほしい。国民健康保険を安くしてほしい。毎月高く、家計にひびく。(天白区20代女性)
- ・だんだん弱いものに負担がいくような流れになっていると思います。この流れを変え、ムダな税金の使い方をなくし、老いも若きもおちついて暮らせるような世の中になってほしいです。(天白区40代女性)
- ・格差社会をすすめる国、名古屋市にはもううんざり。(天白区40代男性)
- ・このようなアンケートを実施し、意見を反映した政治を行ってほしい。(天白区50代男性)
- ・憲法9条を守り、原発ゼロへ向けてがんばってください。(緑区30代男性)
- ・児童虐待が新聞などに載りますが、母親父親に対しての子育て教育とか、こまったことがあったら気軽に相談できる社会をつくってほしい。(緑区50代女性)
- ・良い仕事をしているのでしょうが、議員が少なく残念。がんばって。(緑区60代女性)

性)

- ・ アンケートを行うのは良いですが、これにも税金が使われているのですから、結果をしっかりと活動に反映させて下さい。お金をムダに捨てるようなやり方だけはしないでほしいです。(緑区30代男性)
- ・ こういうアンケートが生かされる国になってほしいです。(緑区30代女性)
- ・ こうしたアンケートに初めて記入するのですが、市政の大変なことがわからないので、いいことだと思う。今後も頼みます。(緑区70代男性)
- ・ 学区に1か所特養があるとよい。年をとってからも安心。計画的に病院や診療所も作ってください。(緑区40代女性)
- ・ 生活道路、特に通学路の安全対策をしっかりやってほしい。事故が起きてからではおそい。地域ごとに対策してほしい場所をアンケートで集めたらどうでしょうか。(緑区30代女性)
- ・ 消費税率引き上げには反対。国が今のままでは意味がない。国民を苦しめる前に、偉い人たちが進んで何かをやってほしい。今のままじゃ未来はないし、期待感も0。(緑区20代女性)
- ・ 自分たちは正しいから、支持者はついてきて当然という独善的と見られやすい立ち位置での言動は考えたほうがいいです。党を守ることや党の形態に神経とかを使うことは控えて。議員さんとおしゃべり会やれるといい。市民が議員さんと直接話して、親近感もてて信頼できれば安心や支持につながるのでは。(緑区30代女性)
- ・ 生活が苦しいので、消費税をあげないでください。(緑区30代女性)
- ・ 年々、暮らしにくくなっている。政治に失望している。(緑区50代男性)
- ・ 議員が少ないので力がないですね。発言、提案が政治に反映できるくらい議員が増えたらいいですね。(緑区40代男性)
- ・ 政治に対して私たちは直接意見を言う場がなかなかないので、今回のような市政アンケートは、とてもよいと思います。少なくとも年に1回は行っていただくとありがたいなあとと思います。港区にはもっと避難ビルを。(港区50代女性)
- ・ このアンケートを活用して、これをするためにみんながんばってもらえないかという活用をしてほしい。もっと防災意識を高める、多くの市民をまきこんだとりくみをしていただけるとよいと思います。(港区40代男性)
- ・ 正直共産党は好きではありませんが、こういうアンケートは賛成です。(港区20代女性)
- ・ 言っていることがわかりやすいので好きです。(港区40代女性)
- ・ このアンケートの集計結果は新聞に載るのでしょうか？期待しています。議会での

- ヤジや居眠りを注意してあげてください。大人なのだから。(港区50代女性)
- ・ 自分も老人だが、共産党を見ていると年寄ばかりの党の感じ。何とかならないか。(南区70代男性)
 - ・ 今後も弱者の立場に立って活動して頂けたらと思っています。(南区60代女性)
 - ・ すべての若い子が安心して自活自立していける世の中にしてほしい。勝ち組だけが幸せになって、年収200~300万円の子は国保料、国民年金払うだけで精一杯で、新しい家庭などとうてい持てないような社会はおかしい。誰もが安心して生活していける社会にしてほしい。(瑞穂区50代女性)
 - ・ 高齢になることが楽しくなるような福祉の充実をお願いします。税金は本当に必要なところに使ってください。(瑞穂区40代女性)
 - ・ もっと本気でやる気をおこしてください。(瑞穂区70代男性)
 - ・ 政党助成金をもらわないのは立派。(瑞穂区50代男性)
 - ・ 子をもつ母親です。働きたくても働けないお母さんが、まわりにたくさんいます。子どもをあずかってもらえる環境を整えてほしいです。(瑞穂区30代女性)
 - ・ 何でも反対ではなく、皆が税金を素直に支払える国にして、というか、なったらいいと思います。頑張ってください。(瑞穂区50代女性)
 - ・ 生活保護を受けている人より貧しい生活をおくっています。原因は仕事がない。重労働か短時間の仕事しかない。かけもちで仕事をして、身体をこわし、さらに働けなくなる悪循環。企業も不景気だからと使い捨て、無理させたり。年齢が高ければ高いほど大変になる。このままでは、私も飢え死にか病死で終わるかも。何とか世の中が変わってほしいです。(瑞穂区40代女性)
 - ・ 日本共産党の指針について明確に示してほしい。今、何をすべきか、私たちにわかりやすく答えてほしい。つどいなどに興味があります。どうすれば参加できますか。皆さんの話を聞いてみたいものです。(瑞穂区50代男性)
 - ・ 消費税引き上げるなら、保険料や食品の税は引き下げをしてほしいです。(瑞穂区30代女性)
 - ・ 共産主義についてよくわからないが、今回、アンケートで意見を聞こうとするとりくみには共感がもてる。(瑞穂区60代男性)
 - ・ 支援者ではないが、少数意見を声を出していく政党としてがんばってください。何でも反対ではなく、少しでも私たちの生活が豊かになるよう、挙党一致しなければならない時は協力して活動してほしいです。(中村区30代女性)
 - ・ 税金ばかりあげて生活が苦しくなる一方。医療、健康保険、介護保険 etc 高くなるばかり。医者にもかかれない。(中村区60代女性)

- ・市営住宅など、低所得者の住めるところをふやしてほしい。(中村区40代女性)
- ・地域委員会はただちに廃止し、町内会を充実させよ。(中村区60代男性)
- ・共産党は発言がブレていないと思いますが、人気があがらないのはなぜでしょう。もう少しイメージチェンジをして、数を増やし、正しい意見をアピールしてください。(中村区50代女性)
- ・掲げた政策を愚直に実行してください。弱者の切り捨てだけはしないでください。格差が非常に大きくなっているのを感じます。弱者の味方でいてください。お願いします。(中村区40代男性)
- ・母子家庭で娘を一人育てています。児童扶養手当受給していますが、その額が毎年減額されています。パートで働きに出っていますが、時間数、日数ともに人件費削減のため、減らされています。将来のための預金ができず、日々の生活でいっぱいです。(熱田区30代女性)
- ・ただでさえ給料やボーナスカットで生活が苦しいのに、消費税率を引き上げることを廃止してほしい。(熱田区30代女性)
- ・後期高齢者になったら、保険料も自分で払い、介護保険料も高くなり、ますます生活が苦しくなり、先のことを思うと不安でたまりません。(熱田区70代女性)
- ・共産党さんは数が少なくて大変でしょうが、身体をはってガンバッテほしいです。普通の人が普通にくらせて、幸福感を感じられる世の中にしてほしいです。(熱田区50代女性)
- ・実現可能な政策を他党と協力して進めてください。(熱田区50代男性)
- ・数は少なくとも存在意義は大きいです。(熱田区60代女性)
- ・貴党は庶民本位の党であるので期待しているが、もっと議席数を増やすよう努力してほしい。(熱田区60代男性)
- ・基本的には自民党支持者ですが、自民党にはない部分を日本共産党に頑張っていたきたい。(中川区50代男性)
- ・残念ながら大躍進は今後も難しいでしょうが、今後も正論の党であり続けてください。(中川区60代男性)
- ・税金を使ってアンケートをとるなら、確実に市政に生かしていただきたいです。(中川区40代女性)
- ・私は政治のことを詳しく知りませんが、こういうアンケートで私たち国民1人1人の意見を聞いてもらえることは嬉しい。自民党民主党くらいしか知らない私ですが、少し「日本共産党」というのに興味を持ちました。捨てようと思いましたが、アンケートだったので記入し、出させていただきました。一人の意見がどこまで通るか

わかりませんが、これからの名古屋市、または今の名古屋市を住みやすい街へしてもらえたらと思います。(中川区20代女性)

- ・消費税があがらないようにしてください。(中川区40代女性)
- ・政権をとる気があるのか不明。政権をとったあとの政策や国の方向性、ビジョンがよくわからない。(中川区50代男性)
- ・震災復興のお金を別のところに使うことをやめてほしい。容認しないでほしい。こういうアンケートはとても良いと思います。(中川区30代女性)
- ・選択肢を少なくし、国民に考える術、時間、機会を与えない、自民党、民主党中心に国家が運営されることに違和感があります。そのような中、選択肢の一つを提供し続けるという意味において、日本共産党は貴重な存在だと思います。(中川区40代男性)
- ・扶養控除がなくなってしまって、子どもがたくさんいる家はとても大変。保育園もなかなか入れない。入れても保育料が高くなる。働かなくては生活できない。悪循環。(中川区20代女性)

以上

※ 改訂版について

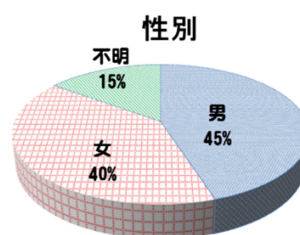
- ・12月3日と4日改訂版との違いを説明します。
- ・簡単に言えば、無回答の人の取り扱いの違いが、数値表と円グラフの違いを解消し、数値データに統一したということです。
- ・例を使って説明します。

100人の回答があったとします。男性が45人、女性が40人、性別に無回答が15人。ある項目に、賛成が40人、反対が50人、わからないが5人、無回答が5人とします。

統計処理をする段階で、項目回答の無回答を集計せず、割合を出すときの総数を100にしたので、数値データは以下の表になりました。しかし円グラフを作るときに、賛成・反対・わからないの3つだけでエクセルの自動集計を利用したため、数値表と誤差が出ました。今回、わからないの中に無回答を加えて、グラフを作り直しました。

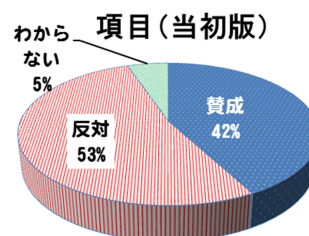
※例 回答者の性別

	実数(人)	割合(%)
男	45	45
女	40	40
不明	15	15
計	100	100



当初版

項目	実数(人)	割合(%)
賛成	40	40
反対	50	50
わからない	5	5



改訂版

項目	実数(人)	割合(%)
賛成	40	40
反対	50	50
わからない・無回答	10	10

